

ポップだより 9月号

土佐町教育委員会（子育て支援センター）

☎ 82-0483

(担当 川村)



保育園に行っていないお子さんと保護者の方を対象に、気軽に遊べる場所を提供し、いろいろな遊びを一緒に楽しみながら、親子のふれあいや交流をたのしめます。

◇遊びの場、交流の場 《ポップ広場》

月曜日	保健福祉センター（母子室）	（9：00～15：00）
火曜日	町立図書館ホール（田井支所横）	（9：00～11：30）
水曜日	保健福祉センター（母子室）	（9：00～15：00）
木曜日	体験保育（みつば保育園）	（9：00～11：00）
	保健福祉センター（母子室）	（9：00～15：00）
金曜日	保健福祉センター（母子室）	（9：00～15：00）

育児に疲れた時、仲間が欲しいと思った時、自由に気楽に交流できる場所として「ポップ広場」をご利用ください。

9月の予定

9/6（金）	乳児健診（対象者には連絡が来ます。）
9/11（水）	愛育相談「乳幼児の応急手当講習」もあります。（10：00～11：30）
9/15（日）	土佐町小中学校スポーツフェスティバル
9/17（火）	トキワ苑子育てCafé+ポップ広場
9/25（水）	ミニお話し会

【今月の絵本】「まあるくなーれ」 鈴木 智子 作

丸いものは大抵なんでもかわいいとおもいます。表紙のねこもそうですし、ちょっと変わったところでは、ダンゴムシも子どもには大人気です。



(今年の夏は、プール遊びがあまりできませんでした。)

中庭で育てたスイカの収穫ができたよ。甘くておいしかったよ



指さしからはじまる言葉の発達

「発達道の道すじにそった絵本の選び方」 瀧 薫

個人差はあるが、早い子供は9か月をすぎた頃から、さかんに興味のあるものを見つけては指差しをするようになります。また、大人が「ワンワン」「ブーブーよ」と言って教えるとそちらへ視線を向けます。こうしてコミュニケーションが出来るようになります。

赤ちゃんは、自分が見つけたものを指さしによって大人に伝えたり、大人が見つけたものを一緒に見つめる事で、自分の周りのいろいろな物を認識しながら、世界というものを発見していきます。また子どもの指さしには、単に「こんな見つけたよ」とか「あれはなに？」という意味だけでなく、例えば大好きな自動車を指さしたときには「かっこいいなあ」「はやいなあ」、犬や猫を指さした時には「かわいいなあ」「ちょっとこわいなあ」と、気持ちも伝えています。子どもの指さしに、ていねいに関わることは、こころの交流であり、言葉を獲得する前の大切なコミュニケーションとして欠かせません。